

TPP協定：第9回交渉会合の概要

平成23年10月31日
外務省

(以下の情報は、現在までに発出されたTPP協定交渉参加国のプレスリリース等を取りまとめたものです。)

■ 1. 会合及び交渉の全体像

- 日程：10月19日-28日（於：ペルー）（22日以降、首席交渉官級で協議が行われた。）
- 11月のハワイAPEC首脳会議までに協定の「大まかな輪郭」を固めるとの目標に向けて、引き続き交渉が行われた。同首脳会議の機会に、交渉参加国の首脳は、その時点での交渉の進捗を確認し、今後のステップについて議論する予定。

■ 2. 各分野の交渉状況

- 今回の会合では、条文案及び分野横断的事項（中小企業によるFTAの活用促進、規制制度間の整合性、競争力向上、開発）について相当な進展があった。その一方で、知的財産のように複雑でセンシティブな分野もあり、これらの分野では意見の集約には未だ一定の時間が必要。
- 物品の貿易、越境サービス貿易、投資、政府調達に関する市場アクセス（物品の関税の撤廃・削減や市場の自由化等）について、合意のパッケージ形成に向けて、着実な進展があった。しかしながら、市場アクセスについては、センシティブなテーマがあり、交渉参加国間の利益のバランスをとる合意のパッケージをどのように形成するか、に焦点を置いて交渉が行われた。各国は、今回の議論や、他国からの特定分野の改善要求（リクエスト）に基づき、これまでの提案（オファー）を見直したものを準備する予定。
- 米国から「国営企業」及び「労働」に関する新たな条文案が提示された。